

加川康子 プロフィール

1977年 大崎市古川諏訪生まれ 旧姓 佐々木
現在 古川福沼在住
千手寺幼稚園・古川第一小学校・古川中学校
古川女子高等学校・山形大学卒業
廣済堂(3年) ドコモCS東北(14年) 勤務
現在大崎市議会議員1期目
哲学対話ファシリテーターとしても活動中



東京・仙台の民間企業勤務後、出産を機に
家族3人でUターンし大崎へ。
子育てや学び、意思決定の場面で「選択肢の少なさ」や
「声の届きにくさ」を感じ、地域での活動を始め、
2022年に市議会議員に初当選。
教育・子育て、市民参画を中心に、現場の声を起点
とした政策提言と議会活動に取り組んでいる。
一児の母。
関心のある領域 哲学対話、音楽、ドラム、ラーメンとおにぎり

議員歴(大崎市議会議員)

会派：NEXT (2024年より代表)
所属委員会 2022年～2026年 総務常任委員会副委員長
2022年～2023年 情報化特別対策委員会
2024年～2025年 情報化特別対策委員会 副委員長
2024年～2025年 大崎地域行政事務組合議会議員

加川康子 サポーター募集

SNSをフォロー!
SNS リンク集 →
QRコード
お友達、家族の人に
私たちのことを
ぜひ話してみてください

知り合いに教える!
子育て座談会を市内で開催
しています。開催日程は
SNSをご覧ください!

座談会に参加する!
公式LINE
QRコード

LINE登録をお願いします

応援メンバーになる!
定期的にお知らせや活動報告をお送りします。
本用紙をFAX送信、もしくは右のQRコードからご参加・ご入会いただけます。
QRコード
からも
お申し込み
いただけます!

ご住所 〒 _____
宮城県大崎市 _____

お名前 _____ 様 ご連絡先 _____

FAX 0229-24-0978

内部討議資料

発行者/おおさきリンクアクション事務局 TEL 090-5249-4034

住み続けたい
帰ってきたい
おおさきを子どもたちへ

かがわ やすこ
加川 康子

Osaki
Link
Action
おおさきリンクアクション

これまでの議会での活動

4年間の大崎市議会
一般質問より

子どもの学び、子育て支援、多様な生き方、人口減少など、暮らしの課題を議会で
問い、提案し続けてきました。

子どもの学びのアップデート

- 学校教育におけるICT活用
- 教員のICT習熟時間確保
- コロナ禍の学習機会確保
(オンライン授業)
- 個別最適な学びとスタディ・ログ
- 学校における生成AIの利用
- NEXT GIGA (端末更新)
- 不登校児童生徒へのICT支援
- 地域産業と接続したSTEAM教育

教員が子どもと向き合える学校へ

- 教員の働き方改革
(校務支援システム)
- 教員の働き方改革の進捗
- 教職員のウェルビーイング
- 放課後の学習支援員配置
- 令和の日本型教育の水平展開

子育て世代を支える仕組み

- 学用品の保護者負担軽減(リユース)
- 学校トイレの洋式化
- 学校教育環境(遊具等)の整備
- 児童生徒の引渡し基準の周知
- 子育て支援DX(オンライン申請)

誰もが自分らしく 生きられる社会へ

- 固定的な性別役割分担の見直し
- 審議会等の女性登用促進
- 20代女性の転出超過とバイアス解消
- 企業のD&I推進
- パートナーシップ制度の導入

若い世代が挑戦できる地域へ

- 若年層・子育て世代の創業支援
- 子育てと並行可能な複業支援
- 人口減少社会に対応したまちづくり
- 人的資本を生かす人材育成

市民の声が届く市政へ

- 市ウェブサイトの情報発信
- デジタル技術による市民参画
- 第3次総合計画の策定プロセス
- 指定管理者制度のあり方
- 教育大綱の改訂におけるプロセス

子どもの命と権利を守る教育

- プレコンセプションケア推進
- 包括的教育の普及



これから

1 人が育ち、地域がつづくまちへ 学びと仕事がつながる環境づくり

- 地域のなかで育ち、学び、働くことができる大崎
- 子どもや若者が「住み続けたい」「帰ってきたい」と思える地域づくり
- 学びの機会と地域の仕事・社会活動をつなぐ仕組みづくり

2 一人で抱え込まない暮らしへ 子育て・健康・暮らしにつながる選択を支える土台づくり

- 通院・買い物・地域のつながりなど、
無理なく続けられる生活を支える仕組みづくり
- 子どもから高齢者まで、一人ひとりが自分らしく暮らせる社会

3 声を上げにくい人の思いも、まちづくりへ 対話と選択が息づく市政

- 声の小さな人の思いを政策に反映する仕組みづくり
- 市民との対話を通じたまちづくり

半径5メートルの違和感から、
まちを変える
一人で抱え込まない暮らしへ。

子どもの学び、働き方、いのちや体のこと。
市議会で議論していることは、
私たちの暮らしと深くつながっています。
教育や子育ての環境、仕事と家庭の両立、
自分の体や健康、将来の選択など、
身近な暮らしの中で感じた疑問や違和感を出発点に、
制度や仕組みの見直しを提案してきました。
これからも、暮らしの声に耳を傾け、対話を重ねながら、
一人で抱え込まない社会を、
みなさんとともにつくっていきます。

かがわ やすこ
加川 康子